



2021年10月1日発行

コロナの不安を軽くしたい

皆さまお元気ですか。

涼しくなり、街中や公園を散歩するのにいい季節になりました。今回も古川なおきレポートをお読みいただき、ありがとうございます。

ファストドクターを活用した モデル事業開始

コロナ第5波では救急搬送困難な事例が多発し、病床確保がままならない現状の中で、自宅療養者への迅速な対応が大きな課題となりました。状況が緊迫し、市民の皆さまの不安を解消するための手法や可能性を模索していた8月中旬、私は知人から「ファストドクター」の話を聞きました。

往診時の流れ



「ファストドクター」は、通常の病院が診療を行っていない夜間などに体調が悪くなった時に電話等で相談を受けて病状を確認し、119番通報や助言、往診の医師を派遣するしくみです。例えば、コロナの自宅療養者が深夜に急変した時も、医師による往診を受けることができます。東京都や大阪府は夜間の医療提供体制を確保するため、「ファストドクター」と協定を結んでいます。

8月26日に私は「ファストドクター」の菊池亮代表医師とともに市の健康福祉局長や医療局長などの関係職員と、横浜市と「ファストドクター」の協力の可能性について意見交換を行いました。その結果、既に実施している港北区でのモデル事業を継続し、他の区にも拡げることが検討されることになりました。また、容態が悪化した患者に必要な酸素

濃縮器の台数確保の課題も話題になりましたが、後日、田村厚生労働大臣と面談した菊地医師がこの窮状を訴え、早速、厚労省から全国に対し、適切に洗浄、消毒、備品交換を行った酸素濃縮器の再利用を促進する旨の通知が出されました。



市の補正予算による更なる対応

横浜市は、今年9月議会で、令和3年度補正予算として自宅療養者を対象に、抗体カクテル療法（※1）やステロイド治療（※2）を支援する予算を計上しました。市と協定を締結した医療機関で抗体カクテル療法を実施する際には10万円、ステロイド治療を実施する場合は1万円の支援を行うものです。

さらに、田村厚労大臣は医師の往診による自宅での抗体カクテル療法の実施も認めました。自宅療養者に対する治療が充実することは、私たち市民にとって大きな安心につながります。

コロナ対策に責任を持つ

自民党衆議院神奈川6区(保土ヶ谷区・旭区)の支部長に就任した後も、市民の皆さまの目線で考え、行動してきました。いつまで続くかわからないコロナ禍の中、できることを着実に実行するのが政治家の本分だと肝に銘じ、引き続き、市民の皆さんの安心・安全のために全力で頑張ります。駅や街頭で見かけた時にはお気軽にお声がけください。



※1 抗体カクテル療法：
新型コロナウイルスの増殖を防ぐ2種類の抗体を混ぜて点滴で投与する療法。軽症者に投与し重症化を防ぐ効果がある。

※2 ステロイド投薬療法：
ステロイド薬を内服薬で処方する療法



学生インターンレポート

みなさんこんにちは！慶應義塾大学法学部政治学科に通う中川颯士です。

2020年3月、新型コロナウイルスの蔓延により私の高校でも部活動停止となりました。簡素な卒業式が実施され、私が3年間続けてきたマンドリンオーケストラの定期演奏会は中止となり、人生で1番の悔しさを感じました。

私がおおきさんに出会ったのはそんな状況の中の今年1月でした。

横浜市議員として26年間活動してきたなおきさんは市議としてはベテランで市議団の団長も務めていました。そのような方が一学生の意見に耳を傾け、相手に敬意を持ちながら常に学びの姿勢を持っていることに強く感銘を受けたことを今でも覚えています。

その後、4月15日から自民党の衆議院神奈川6区支部長として活動するなおきさんを私は学生リーダーとして支え、現在に至ります。

なおきさんが26年前の初当選以前から続けていることの一つに学生が中心となって活動する駅前での街頭活動があります。これは直接旭区・保土ヶ谷区の有権者の皆様と接し、様々な方の意見を伺える大変貴重な機会です。駅前では、政治的な思想が異なる政党の政治家が連日大きなマイクで主義主張を訴えています。その中には自分とは異なる意見を持つ政党の政



治家もいると思います。憲法改正や新型コロナウイルス対策など様々な意見がありますが、それは問題解決の方法が異なるだけで、日本を良くしたいと思う気持ちはどの政治家も同じだと私は思います。「政治のビラなんて興味が無い」「あの議員は自民党だからきっと悪い奴だ」と時には厳しい意見もいただくこともありますが、異なる意見に耳を傾けながら自分の意見と照らし合わせ、社会について考えることが我が国の民主主義の発展に繋がると思います。

最後になりますが、なおきさんにとっては人生で最大の挑戦が目前に迫っています。なおきさんには閉塞感が漂う我が国の現状を打破し、希望が溢れる横浜・日本を実現して貰うために更なる飛躍をしていただきたいと思います。そのために私も全力でサポートして行きます。

2021年9月21日 中川颯士



インターンの仲間とともに (中央が私)

学生ボランティア募集!

お気軽に古川事務所にメールしてください!

古川なおきプロフィール・自民党衆議院神奈川6区(保土ヶ谷区・旭区)支部長

- ・1968年8月31日「野菜の日」生まれ
- ・希望ヶ丘高校、明治大学政治経済学部卒業、明治大学公共政策大学院修了
- ・横浜銀行、議員秘書を経て旭区より1995年横浜市議員26歳最年少当選(現在7期目)
- ・自民党横浜市議団団長、政務調査会長を歴任
- ・2021年4月 自民党衆議院神奈川6区支部長に就任
- ・希望ヶ丘高校同窓会「桜蔭会」理事
- 旭区サッカー協会 顧問／旭区卓球協会 顧問
- 旭区スポーツダンス協会 顧問
- 旭区剣道連盟 顧問／旭区食品衛生協会 顧問
- ・2018年横浜マラソン完走(5時間8分)

〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘199-1
TEL : 045-391-4000
FAX : 045-366-9700
E-mail : jm@furukawa2002.com



ホームページ

